



## 第34回 なくせじん肺全国キャラバン 被災者救済と実効ある改善を求めて

第34回を迎えた『なくせじん肺全国キャラバン』は、4～6日の電話相談から始まりました。

事前に県庁記者クラブに資料を持ち込み、チラシの新聞折込みもして、3日間で6名の方から相談が寄せられましたが、電話をしてきた人はほんの一部で、潜在被害者はなお多数あると感じています。



### 愛知の要請行動

10月13日は中部地方整備局、愛知県と労働局の要請を行い、建交労は県本部田村執行委員長をはじめ6人、愛知健康センターから松本事務局長と2名の参加で合わせて8名でした。

中部地方整備局では6人が対応。救済法（基金）については「本省に要請してください」、トンネル建設工事現場の労働時間については「工事の進捗を確認しているだけで、労働者の管理をしているわけではない」といった不誠実な回答が目立ちました。また、工事件数については即答できず終了後「愛知2件、静岡1件、岐阜・長野・三重は各3件の工事を発注」とメールで報告がありました。

愛知県要請では10名が対応。回答の前に労働福祉課担当課長から、活動を続けてきた要請団に敬意が述べられました。

愛知労働局は、5名に対応いただきました。「じん肺管理2・3の人が、健診センターで労災適用される病症になった場合の案内」、「騒音 性難聴・振動障害の検査病院」、「建設アスベスト給付金の担当者」などについて、次々と質問。やり取りの中で、田村委員長から「労働行政が劣化しているのでは



ないか、建設アスベスト給付金の担当者は、とても専門家とは思えない。労働者を守るために仕事をしているのか」と強く訴えました。最後に局から「たくさん話を聞かせていただき、今後の改善点として検討します」との返答があり、要請団は、実効ある改善を求めて念を押しました。



### 静岡の要請行動

19日は、静岡県及び労働局に要請。建交労から県本部松澤執行委員長をはじめ9名、静岡健安センターから相曾事務局長の合計10人が参加。

静岡県要請では、計8名が対応され、アスベスト含有調査や吹付アスベストの除去費用に補助があり、令和4年度までに県内で分析調査が495件、除去が160件あったことや、簡易アスベスト検出キットを出先機関に配布していて、迅速に判定できる体制を整備したことなどが報告されました。

静岡労働局要請では、8名に対応いただきました。

「トンネルの臨検監督については、重点的に取り組んでいる」と前置きして、「その際は、安全衛生のみならず、労働基準法の遵守状況、特に36協定の時間外労働条件規制、過重労働防止の観点から指導に取り組んでいる」との回答がありました。

昨年までトンネル工事に従事した<裏に続く>

# みんなのひろば

## 休耕田に見事なコスモス畑 寺川哲夫



藤枝市岡部町にあるコスモス畑に行ってきました。家族連れで賑わっていましたよ。

住民有志のグループが、毎年、約3ヘクタールの休耕田に種を蒔いて栽培しています。見頃は10月15日～11月5日頃まで。

## きらめきに包まれる「なばなの里」

三重県桑名市にある『なばなの里』は、季節の咲き乱れる花も好評ですが、毎年冬に開催されるイルミネーションは、今年、10月21日から来年の6月2日までの期間開催されます。

テーマ①黄金のピラミッド。②光の大河。③光のトンネル花回廊。④100mのトンネル『花と華』。⑤ミレニアムガーデン。⑥ツインツリー。⑦花と光の共演。こんな宣伝がされると行ってみたいくなりますね。



### みなさんへのお願いです

11月27日は1年に一度の、愛知分会定期大会です。一度も参加したことがないという方も、ぜひご参加ください。家族の方と一緒に参加も大歓迎。年金署名・アンケートなどが、まだの方は書いて返信用の封筒で返送してください。

11月の予定

17日 会計監査・分会会議

19日 県本部 統一宣伝行動

27日 第20回分会定期大会

## ご案内

- ※ 分会第4回会議 11月17日(金)13:00～  
午前中は会計監査。10:00～ 文化センター
- ※ 第20回定期大会 11月27日13時半開会  
瀬戸文化センター 1階12会議室

### <キャラバン静岡労働局要請の続き>

伊豆の国市の組合員が、その時の労働実態を説明すると、出席者は真剣に耳を傾けられていました。



静岡県要請

10月23～24日は各地で行動を終えた仲間たちが東京に集まり集結集会、24日署名を国会議員に渡し2023年のキャラバンは終了しました。



衆議院第一議員会館での集結集会

## 安い掛け金で大きな保障 家計も助かる 共済は働く仲間の助け合い

病気やケガ、災害時には費用がいろいろかかります。物価が高騰する中でも、万が一に備えて、毎月数万円の保険料を支払っている方も少なくありません。組合員のみなさんにお勧めしている共済は、民間の保険会社と異なり利益を目的していません。少ない掛け金で大きな保障が受けとれる労働組合の助け合いのしくみです。共済に入れるのも、労働組合の大きなメリットです。昨年からは火災保険に地震保険も含まれるようになりました。あなたも加入しませんか？

